

2021年度 グランドデザイン

2020年度 成果と課題 (学校教育) 高い学習意欲や社会性の伸長など義務教育学校としての特色を生かした長所がある一方、基礎的読解力の不足や授業研究などに課題がみられる。
(生涯学習) 読書事業などで工夫した実践があったもののコロナ禍で多くの事業が見送られた。これを機に事業の見直しを進めるとともに文化財保護の方策も検討する必要がある。



学び合いつながり合って 豊かな心を育むまちづくり

めざす学校の姿＝進化する学校 めざす公民館の姿＝魅力ある公民館

社会性に富み、町民としての自覚を持った児童生徒の育成

学力の向上

- 対話や討論のある授業が展開されている。
- 授業がよくわかる。(全校平均3.4以上)
- 学力調査が県平均を上回る。
- ・職員研修への外部講師派遣(獲得研)
- ・リーディングスキルテスト(基礎的読解力)の実施
- ・「武埴三山」副読本の国語科等への活用 ☆
- ・「洲崎遺跡」副読本の制作 ☆
- ・全員配付タブレットによるデジタル教科書の活用 ☆
- ・4年生以上への新聞配付とNIEへの取り組み ☆

社会性の伸長

- 社会的な事象や出来事への関心が高くなる。
- 他学年と協力したり仲良くするなど関係が強くなる。
- ・動物ふれあい学習(1～4年)、海の体験学習(4年～6年)の実施
- ・異文化体験学習(7年～9年)の実施 ☆
- ・海外修学旅行の研究・視察 ☆
- ・井川みらい学への外部講師招聘
- ・社会性測定尺度による社会性調査の実施
- ・QUの全学年での実施

温かな心、健康な体

- 生命尊重や思いやりに関する意識が高揚する。
- 生活習慣改善や運動する意欲が向上する。
- ・いきものふるさと水槽事業への支援
- ・町健康教育副読本の活用への支援
- ・町の健診と連携した講座や検診見学の実施
- ・県医師会と連携した運動の取り組みへの支援
- ・職員対象のストレスチェックの実施

地域とともにある学校

- 応援協議会からの提言に対応している。
- 学校給食の町内産野菜使用率が向上する。
- ・井川みらい学の新プログラムへの支援 ☆
- ・教育支援委員会による子ども・保護者への支援
- ・幼小連携会議による接続プログラムの作成 ☆
- ・通学路の安全確保とスクールバスの安全な運行
- ・学校給食供給システムの検討と改善

生涯学習・社会教育の充実

豊かで楽しい学習機会の保障

- 各種講座やイベントの満足度が向上する。
- 参加者の減少に歯止めがかかる。
- ・高齢者大学、移動公民館、いきいき町民セミナー、放課後子ども教室の実施
- ・満足度調査の実施及び聞き取りによる事業改善
- ・講座の名称や内容等の検討と改善

社会体育・生涯スポーツの充実

健康のためのスポーツの普及

- 各種大会やイベントの満足度が向上する。
- 組織の見直しで運営が活性化する。
- ・各種大会、チャレンジデー、自然ウォーキング、井川マラソンの実施
- ・満足度調査の実施及び聞き取りによる事業改善

地域の教育力向上への支援

- 家庭教育支援の事業が充実する。
- 公民館図書室の利用者数が増加する。
- ・家庭教育での学校や子どもセンターとの連携強化
- ・子ども教室の多様な講座や取り組みへの支援
- ・図書室の広報や展示の工夫

文化財保護・芸術振興

伝統文化・文化財の継承と活用

- 文化財継承課題について方向性を出す。
- ・学校と連携した伝統文化の継承と町民への啓発
- ・芸術文化振興をふまえた公民館の展示等の改善
- ・審議会等での幅広い意見聴取と協議

□ 到達目標 ・ 具体的取り組み

感染症拡大に伴う危機管理

- 生命の安全を第一に、町民・子どもたちの学習権を最大限保障する。
- ・学校運営や事業実施の可否を適切、迅速に判断する。
- ・教育活動や事業について抜本的検討と見直しを図る。

